

1. 若草山のナンキンハゼ対策について

- 管理手法の目標について
 - ・保全すべき景観や植生等に問題となる影響を与えないことの中に、土壌、地下水系を含む水系を明記しておく必要がある。
- 刈り払い時期の試行について
 - ・比較的樹液の飛散が少ないと考えられる 3 月、4 月等の活動が始まる時期に刈り払いした場合の効果についても実験的に調べてみてはどうか。
- 除草剤処置について
 - ・分布範囲があまりにも広いので、除草剤処置を主体にするのは、長期的な影響からも慎重に考える必要がある。
- 樹林地のナンキンハゼについて
 - ・種子の供給源は極力早く抑制する必要がある。
- 広報について
 - ・理解してもらって、認識してもらって、支援してもらおうための広報をお願いしたい。

2. サクラ育生に関する調査検討について（茶山園地 サクラ類の根頭がんしゅ病）

- 検討の方向性について
 - ・病理学的な追究をしていただくことが、最後の決め手になるので、引き続きお願いしたい。

3. 東大寺東塔院跡地区整備にともなう樹木管理（案）について

- 枝下高の設定について
 - ・目線が抜ける枝下高に注意して進めて頂きたい。
- 園路について
 - ・人がたくさん通る所ため、踏圧による樹木への影響を十分考慮しながら設計を進めてほしい。
 - ・園路の幅員は一定にしなくても、一部分で車イスが待避してすれ違えばバリアフリ

一上問題ない。

●スギ並木の伐採について

- ・視覚的な関係と同時に樹勢の強いものを残す視点で、伐採木を選定して頂くたい。

●公園側のアラカシについて

- ・公園の芝生の広がりを阻害しているため、計画案にある伐採によっていい空間になると思う。

●公園との連携について

- ・奈良公園全体の景を整える上で、今後も引き続き連携して進めてほしい。
- ・経過報告や現地を見る機会があればお願いしたい。